

2007年度へ向けての国土交通省の動向 ―その重点施策より―

国土交通省は、2007年度予算要求の基本姿勢となる重点施策を2006年夏に発表しました。その中から、最近の国土交通省の動向を理解するうえで役に立つように、特に注目すべき項目を取り上げて紹介します。

重点施策の構成

重点施策は、大きくは以下の5つのテーマで構成されています。すなわち、(1)国際競争力の強化・観光立国、(2)地域の自立と競争力強化、(3)安全・安心基盤の確立、(4)柔軟で豊かな生活環境の創造、(5)「新・成熟社会」形成に向けた政策プラットフォームの5つです。

国際競争力の強化・観光立国

このテーマの中で特に注目したいのは、「国際水準の物流ネットワークの構築」です。これは、1つには国際標準コンテナ車が支障なく通行できる幹線道路ネットワークを構築するため、三大都市圏の環状道路などの高規格道路や地域高規格道路の整備を推進するとともに、通行支障区間(約560km)を早期に解消(スーパー中核港湾にかかわる区間は、2010年度までに解消)しようとするものです。

もう1つは、高規格幹線道路のインターチェンジ等から拠

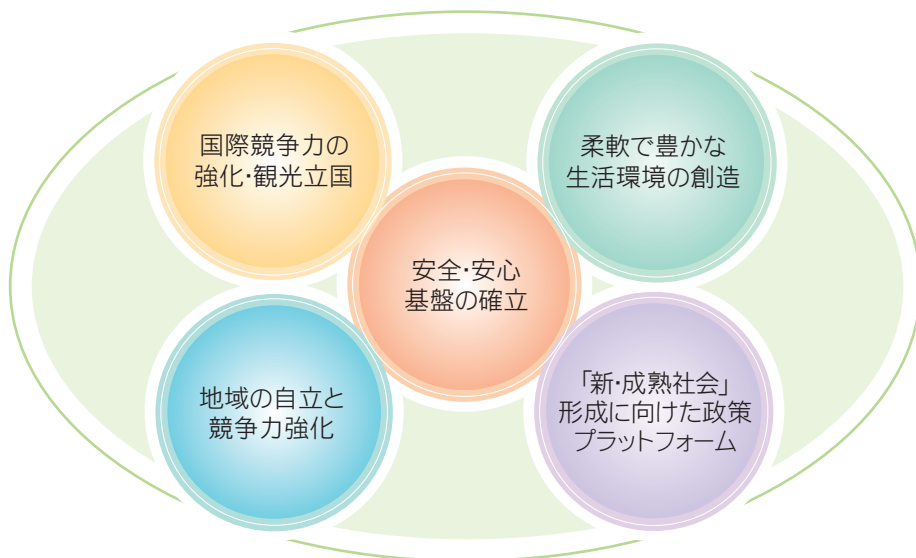
点的な空港・港湾への10分アクセス率(2005年度:66%)を欧米並みの水準(約9割)とするため、アクセス道路等の整備を重点的・効果的に推進することです。

また、「国際競争力のある観光地づくりの支援」では、観光地へのアクセス道路の整備を進めるとともに、日本風景街道(シーニック・バイウェイ・ジャパン)の制度確立が目指され、各ルートにおけるNPO等が行う活動への支援等によって、良好な景観の形成が推進されます。

地域の自立と競争力強化

このテーマの中で第1に注目したいのは、「成長基盤インフラ」です。これに関しては、まず、事故・災害や渋滞に対する高速定時サービスの信頼性を高め、地方の人口集積地を規格の高い道路のネットワークに接続することを目的として、高規格幹線道路及び地域高規格道路のような、規格の高い道路のネットワークを重点的かつ効率的に整備することを目指しています。次に、交差点などの渋滞が頻繁に発生する主要渋滞ポイントについて、地方都市の環状道路整備・バイパス、交差点改良が推進されます。

第2に注目したいのは、「都市の成長基盤を支えるインフラ整備」です。この項目に関しては、三大都市圏における規格の高い環状道路の整備を推進するとされています。



■ 国土交通省の重点施策 ■

第3に注目したいのは、「地域住民との協働による地域づくり・まちづくり」です。これに関しては、沿道住民などさまざまな主体が参画して、道路の性格の決定や計画の作成を行うとともに、沿道と一体となった道路空間の整備・管理を行う制度の創設(道路ルネッサンスの推進)があります。

第4に注目したいのは、「都市・地域における総合交通戦略の推進」です。この項目に関しては、まず地方公共団体や公共交通事業者等、関係者が一丸となってハード・ソフト両面から「都市・地域総合交通戦略」(仮称)を策定することを支援するとともに、同戦略に基づいて行われる公共交通の導入・利用促進、交通結節点の改善、駐車場整備、自転車・歩行者環境整備、モビリティマネジメント活動等の取り組みへの総合的な支援があります。

安全・安心基盤の確立

このテーマの中で第1に注目したいのは、「豪雨災害対策の総合的な推進」です。この項目に関しては、まず流域の遊水機能の保全(氾濫が予想される区域における盛土の規制等)や二線堤(氾濫区域とその他の区域とを区切る堤防)の整備等、連続堤防の整備に代わる手法によって住宅等を優先的に防御するための制度が創設されます。

次に、河川及び下水道の貯留機能施設をネットワーク化し、一体的に運用することによって、都市浸水被害が効率的に軽減されます。

さらに、浸水被害が頻発する市街地等において、下水道、道路、公園等の貯留浸透施設を一体的かつ計画的に整備する仕組みが新たに構築され、早急かつ効率的に浸水被害が軽減されます。また、ハザードマップを活用して、洪水時においても浸水せずに救援活動を支える道路(救援ルート)を表示したマップ、浸水回避に配慮した道路が整備されます。

また、台風予想位置の3時間刻みでの提供(現在は12時間刻み)が開始されるとともに、土砂災害警戒情報の提供が全国で展開されます。

第2に注目したいのは、「地震、津波・高潮対策の重点的・計画的な推進」です。この項目に関しては、まず、地震によっ

て崩壊した場合の被害の程度が大きい急傾斜地について、崩壊対策が重点的かつ計画的に実施され、対象箇所の保全対策がおおむね10年以内に完了されます。

次に、耐震補強3箇年プログラムに基づいて、2007年度には高速道路の橋梁約2,000橋脚、一般道路の橋梁約1,000橋脚の耐震補強対策が実施されます。

柔軟で豊かな生活環境の創造

このテーマの中で第1に注目したいのは、「環境対策の高度化」です。この項目に関しては、温室効果ガスの観測機能を強化した観測施設の整備等が進められ、高精度の温室効果ガス監視情報が提供されることによって、効果的な温暖化対策の実施に貢献します。

第2に注目したいのは、「循環型社会の構築」です。この項目に関しては、より有効な技術の検討・評価を行うとともに、関係機関による事業連携のアクションプログラムを策定するなどによって、山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理に関する取り組みが推進されます。

「新・成熟社会」形成に向けた政策プラットフォーム

このテーマの中で第1に注目したいのは、「国土交通関連産業の海外展開の支援」です。この項目に関しては、道路、河川、下水道、住宅・建築物、港湾・空港、都市鉄道、自動車分野等、発展途上国における防災・環境・安全・省エネルギー・都市問題に資する技術協力が重点的に推進されます。

第2に注目したいのは、「戦略的な施設管理手法の確立」です。この項目に関しては、新設の段階からの適切な維持管理によるライフサイクルコストの縮減を図りつつ、施設の延命化を図る仕組みについて、所管施設横断的に検討されます。

第3に注目したいのは、「IT技術を活用した国土形成」です。これは、①地理空間情報の高度な活用の推進と、②IT技術を活用した国土交通関連サービスの高度化です。